



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 349

August 2020

### NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE  
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

## 暑中お見舞い

会長 柘田 義一

長く続いた梅雨も明け、本格的な炎暑の季節となりました。今年は暑さに加え、コロナウイルス感染の勢いも未だ止まらず、心身ともに疲弊の日々が続いています。会員の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

先月末の「お知らせ」にてご報告致しましたが、会報の隔月発行を一時中断して、感染がある程度終息するまで今月より毎月発行としました。

神戸日独協会は、本年度に入りコロナウイルス感染防止のために上半期の行事の中止に加え、「3密」回避のために会員交流のための催し物の計画も立てられずにいます。今後もしばらくは会員皆様の交流の場が持てる見通しが立ちません。そこでそれを補うものとして「会報」をご利用して交流していただくことを目的に、当面の間毎月発行としました。従いまして、会報の紙面は会員皆様のご寄稿を中心に作ってまいります。「近況報告」など大歓迎です。1頁(約1万字)以内の原稿を添付にて毎月第2月曜日の昼までに事務局へお送りください。ご寄稿をお待ちしています。また、感染防止期間特別企画として「ドイツを楽しもう!」コーナーを新設します。このコーナーは:

### 1) 「ドイツの魅力、素晴らしさを共有しましょう」

ステイホームでドイツ文学をはじめドイツに関する書籍等を読んだり、ドイツ関係の映像を見たりしての紹介・感想をお寄せください。「ドイツの魅力」を共有しましょう。

### 2) 「家庭でドイツ料理を作りましょう」

協会のドイツ家庭料理教室でこれまで扱ったドイツ料理のレシピを読んで作れるように手を加えて改めて公開します。ご家庭のメニューに「ドイツ料理」を加えてお楽しみください。

### 3) 「ドイツ語の広場」

ドイツとの往来が困難な今、ご自宅でドイツ語を楽しみませんか。まずは早口言葉、回文、クロスワード等「ドイツ語の言葉遊び(Wortspiel)」をしましょう。ドイツ人に教わったあるいは知っているものを持ち寄って一緒に楽しみましょう。

# 感染防止期間特別企画 「ドイツを楽しもう！」

## 「家庭でドイツ料理を作りましょう」

4月からのウイルス感染拡大に伴い外出自粛が求められ外食を控え家での食事が続いていることと思います。「家食」の献立にドイツ料理を取り入れていただきたく、このコーナーを設けました。

### 第1回 「シュニッツェル」と「ケーゼシュペッツレ」

料理研究家 日下部管子さん

#### シュニッツェル(ドイツ風カツレツ)

ドイツのシュニッツェルといえば豚肉を使ったカツレツが主流ですが、オーストリアでは仔牛のヒレ肉や赤身肉、鶏肉を使ったもの、又、イスラエルでは七面鳥の肉を使ったものが主流とされています。もちろん日本でもカツレツの店はどここの町にもあり、家庭でも簡単に作れて皆に愛されている料理のひとつです。

#### ケーゼシュペッツレ(ドイツの伝統的な卵麺)

このお料理は南ドイツの伝統的な郷土料理のひとつで、レストランに行けば必ずメニューの中に入っているほどポピュラーなものです。ドイツのスーパーではケーゼシュペッツレ専用の麺が売っていて、肉料理の付け合せに使われたり、ベジタリアンの方たちのためにも欠かせない料理です。麺の上には様々なソースと共にフライドオニオンがかかっています。

レシピは別紙にて同封しています。

日本の「トンカツ」とは一味異なるドイツ・オーストリアのフライ料理を代表するシュニッツェル(Schnitzel)とドイツ南西部の代表的なパスタ料理であるシュペッツレ(Spätzle)で夏負けを防ぎましょう。

## 「ドイツ語の広場」

日本語の「なま麦なま米なま卵」や「赤パジャマ黄パジャマ茶パジャマ」のような早口言葉と同じように、ドイツ語にも „Fischers Fritz fischt frische Fische, frische Fische fischt Fischers Fritz“ や „Blaukraut bleibt Blaukraut und Brautkleid bleibt Brautkleid“ という早口言葉(Zungenbrecher) があります。

Eile mit Weile!「急がば回れ(く暇をかけて急げ)」のような似た音を重ねての諺。「たけやぶやけた」のような前から読んでも逆に読んでも同じ音になるいわゆる回文、ドイツ語でも Otto のような人名をはじめ„Bei Liese sei lieb!“のような回文があります。どのような回文をご存知ですか。

このようなドイツ語での言葉遊び(Wortspiel)をしませんか

あなたの知っている或いはドイツ人から教わった言葉遊びに関するものを持ち寄って、異なった観点から自宅でドイツ語を楽しみましょう。ドイツ語のクロスワードも大歓迎です。

このコーナーでは言葉遊びをはじめ「ドイツ語」を楽しむ皆様の企画もお待ちしています。ぜひお寄せください。

## ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日、柘田先生)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています。

### 何故、男性の方がコロナウイルスの死亡率が高いのか？

理事 押尾 愛子

コロナウイルスの発生・大流行からおよそ半年が経って、コロナウイルスの特徴が多少、分かり始めてきている。Deutsche Welleに日本ではあまり知られていないことが載っているのので、紹介してみたい。

コロナウイルスの死亡率は、男性の方が高いそうだ。感染する割合は女性も子供も変わらないのだが、重症化したり、死亡したりする率は男性の方が高い。初めの頃は、男性のほうが普段からあまり健康に気を付けていないからとか、煙草を吸う人が多いからとか、栄養管理ができていないからとか推測されていたが、もう少しちゃんとした理由があるみたいだ。

コロナウイルスの感染には、ACE2という受容体が大きな役目を果たしている。この受容体と慢性的な心不全との関連を調べる過程で、男性の方がほうがこの受容体が多いことが判明した。降圧剤としてACE阻害薬を投与すると、細胞がACE2受容体をつくり、これにより感染しやすくなるのではないかと考えられている。が、まだ証明されてはいない。

女性ホルモンのエストロゲンが免疫システムを強くしているという説がある。女性のほうが男性より抵抗力があるとよく言われるが、この女性ホルモンが免疫システムを活発化させ、病原体に対して速やかに対応するというのだ。それに対して、男性ホルモンのテストステロンは生体固有の抵抗を阻止する。つまりウイルス感染に対して、女性の免疫システムのほうが早く、強く働くのである。これはコロナウイルスだけでなく、他のウイルス性の病気、つまりインフルエンザや風邪においてもそうだとか。

一方で女性は自己免疫性の疾患に男性よりかかりやすい。それは免疫システムが過剰反応するからで、自分の細胞を攻撃して、合併症を引き起こすこともある。

遺伝子的にも女性のほうが有利だそうだ。X染色体は病原体を見抜く働きを持っているため、X染色体を1個しか持たない男性に対し、2個持つ女性は有利だというのである。

さて、子供はどうかというと、子供は無症状や軽症のことが多い。それは生まれつき母親から免疫システムを受け継いでおり、生れてからも母乳を通じて、免疫システムを獲得する。子供の感染率は大人と変わらないが、では感染した子供は大人に移すのか？

コロナウイルスが広がり始めた初期の段階で、メルケル首相は「大好きなおばあちゃんに会うのは、今は止めておきましょう」と子供たちにメッセージを送った。確かにインフルエンザとか風邪とか他の病気では子供が家族に広めることがよくあるが、このコロナウイルスに限ってはそうではないみたいだ。感染した子供の咽喉には、大人と同じようにウイルスがいるが、子供はあまり咳やくしゃみをしないので、人に移す割合が低いのではないかとされている。だとしたら、保育所や学校は、手洗いやソーシャル・ディスタンスなどのルールを守れば、学校は開けていいのではないかということになる。 Deutsche Welle: Warum sterben mehr Männer an COVID-19? (24.06.2020)より

# コロナウイルスCOVID-19、発生から6ヶ月の中間報告

会員 山崎 竜司

SARS-CoV-2ウイルスが世界中に知れ渡るようになって半年が過ぎた。研究者たちはこのウイルスについて様々なことを突き止め、コロナに対する戦いも進捗した。ここで重要な点についてDeutsche Welleの記事を参考に総括する。

当初、中国当局はヒトへの感染の兆候を明らかに隠蔽しようとしていた。動物からヒトへの感染がいつどこで生じたかについては今もって正確には明白にされていない。コウモリから中間宿主(おそらくタヌキ)への感染が起こり、それからヒトへの感染が起こったとみなされている。こうしてパンデミックが始まり、今なおパンデミックの真っ最中である。

中国のウイルス学者達は記録的な速さで病原体の遺伝子情報を解読した。彼らは1月21日にはすでに遺伝子構造を公表し、これをもって世界中の医者や微生物学者達はこのウイルスに対する薬やワクチンを開発できるようになった。このウイルスの特徴は、ウイルスの表面にACE-2というスパイクプロテインが存在することであり、これは宿主細胞に結合するために重要なのである。それゆえ、薬品開発とワクチン開発の大部分は、このタンパク質に結合し、このタンパク質をブロックするかまたはその他の方法でこのタンパク質を無力化することに集中している。

このウイルスは特に気道そして肺に付着することが確認された。感染の危険性が最も高いのは、汚染物に直接触れることのほかに、エアロゾルを介してである。多くの人のいる密閉空間がとても危険であるので、感染を食い止めるには、都市封鎖、娯楽施設の閉鎖、大きなイベント中止が非常に効果があった。この間マスクの着用がほとんど全ての国々において広く受け入れられた。しかし多くの医師達はそもそも大多数の人々に起こりうるウイルス感染を阻止するほどにマスクを日常において使用しうるかどうかを疑問視していた。マスクよりも確実に意味のあることは、手洗い、人との距離を保つこと、徹底的かつ継続的な換気であると言われている。

コロナ感染初期の頃には、この新型のウイルスは季節性のインフルエンザよりも危険性が少ないという主張がまだ広まっていた。しかしこの間に医師達には、この疾患が危険性の観点からすると1918年のスペイン風邪により近いということが分かってきた。このコロナ感染症は多くの人には無症状で経過するが、その一方である人たちは非常に重症となる。誰が被害を被るかは明白に述べることはできないが、より危険となるのは、高血圧・糖尿病・癌・腎不全・肝硬変・循環器疾患などの基礎疾患のある人、高齢者、血液型がA型の人、そして男性である。

COVID-19の軽症型は風邪のような印象を与え、咽頭痛・呼吸の問題・嗅覚と味覚の喪失が特徴である。重症な場合には生命の危機となる多臓器不全を来すことがある。重症例はしばしば敗血症へと至る。敗血症は致死的な免疫の過剰反応であり、過剰反応した免疫系が自身の組織や器官を攻撃するのである。それゆえ、病気の深刻な場合には、病原体に対して免疫系がどれほどの強さで反応するかということが重大な意味を持つ。

コロナパンデミーの初めには、重症な多くの患者が早期に人工呼吸器に(挿管されて)つながれ、それにもかかわらず亡くなった。この間に集中医療の専門医師達は人工呼吸器の使用を控えるようになった。というのも、高圧下で人工呼吸器を使用することは肺機能を助けるよりもむしろ肺に障害を引き起こすという肺を専門とする医師達の見解が広く受け入れられるようになったからである。

患者が自分で呼吸をしているうちは、人工呼吸器につながなくても患者は酸素を取り入れられるのである。最悪の病状においてはじめて、挿管(人工呼吸器)ということが問題になる。COVID-19による腎臓の障害が重篤である時は多くの場合人工呼吸器に加えて人工透析が必要となるように、集中治療ではその他の臓器障害をもより強く考えに入れられる。専門病院においてはCOVID-19を克服した患者の血液から得られた抗体を投与することで、治癒の過程が早められた。投与された血液の免疫が患者の体内においてコロナウイルスとの戦いを開始するのである。

これまでに病気の経過を短くする可能性があるかと確実視されている唯一の薬剤はラムデシビルである。目下市場ではラムデシビルをめぐる激しい争奪戦が行われている。しかしラムデシビルは酸素を投与されている患者においてその治癒の過程をわずかばかりの日数短くするが、患者の生存率をあげることはできないので、特効薬ではない。医師達は、市場に出回っていて抗コロナウイルス薬となる他の幾つかの薬を動員しようとしている。例えば、抗炎症薬デキサメタゾン、RNAポリメラーゼ阻害薬アヴィガン、抗マラリア薬ヒドロキシルクロロキンがある。はじめの2つに関しては、効果と安全性が最終的に証明されておらず、3つ目に関しては、それどころか、効果と安全性についての強い疑問が存在する。

今では世界中で少なくとも160のワクチン開発プロジェクトが開始されている。これらのプロジェクトは基本的に3つのワクチンタイプに分けられる:生ワクチン、不活化ワクチン、遺伝子に基づいたRNAワクチンである。今のところドイツにおいては、BiotecとCureVacによる2つの認可ワクチン候補が第1相と第2相を組み合わせた治験中にあり、この2つはRNAワクチンである。それと並んですでに認可されている結核ワクチンがある。結核ワクチンは確かにSARS-CoV-2に対して直接はたらくものではないが、人に元々備わっている免疫力を強める。マックスプランク研究機関の感染生物学研究者らはこれを遺伝子学的に改善させようと努力している。WHOの情報によれば今年の6月末世界中で5つのワクチンが人に対する治験において第1相の段階である。第1相ではワクチンの安全性が問題となる。7つのワクチンが第1相と第2相を組み合わせたテスト段階にある、この段階では免疫応答も試験される。たった1つのワクチンだけがすでに第3相の段階であるが、この段階では実践における病原体に対する効果の立証が問題となる。

一体いつになったらワクチンができるのか?楽観主義者らは今年の終わりまでには有用なワクチンが市場に出回ると願望している。他の人は来年という言葉を目にしている。しかし実際は、多くの人々に使える抗SARS-CoV-2ワクチンが市場に現れるのか否か、それがいつになるのかについて今のところまだ見通しが見えない。もしある1つのワクチンが認可されたとしても、大量生産という別の課題が存在する。RNAワクチンの利点の1つに相対的に速く生産するという点がある。世界中でますます多くの人々が感染している。6月末には優に1000万人を超えた。しかしながら世界の人口78億人をもってすると、これらの病気が重要な免疫という結果になるという気配はまだない。さらにこの感染から回復した人たちがこのウイルスに対する永続的な免疫を保つか否かは明らかではない。このウイルスに対する抗体を持っているのかどうかは、血液の血清検査で確認できる。しかし、誰が今現在感染しているのか伝染性があるのかについては、綿棒についた採取物を遺伝子検査することで(のみ)明らかにされる。

Deutsche Welle: Sechs Monate COVID-19 — eine Zwischenbilanz (03.07.2020)より9頁に「ウイルス感染関係のドイツ語彙」を掲載しています。

# ドイツ語談話室

## 第196回ドイツ語談話室

日時：2020年6月20日(土) 14-16時 場所：神戸日独協会会議室

テーマ：様々な習慣

今回の司会は原田耕作氏が担当し、コロナウイルス感染予防問題で当談話室も3月より開催中止となり、今回やっと開催できるようになったが、感染予防のため、手の消毒滅菌、マスクの着用、さらにフェースシールドの着用もしていただくよう要請した。部屋の扉も開放状態とする。

今回のコロナウイルス問題で、司会者も、マスク着用の生活習慣の違いについて、ずいぶんと違いがあることを認識した。日本では普段から、風邪ひき、インフルエンザ、花粉症などでマスクの着用はごく当たり前の日常習慣だが、ドイツや他のヨーロッパ諸国ではマスクを着用する習慣がなく、それは彼らにとって異常な事態であることが分かった。

参加者からも、それぞれの習慣についての話が出た。主なものを下記する。

- 早寝早起きを習慣としている。また、戸外の自然の中で、仲間と気功を習慣としてやっている。
- テニスが趣味で、運動のため歩くことを習慣づけている。出来るだけエレベーターやエスカレーターを使わず階段を上るよう心掛けている。
- 毎日 NHK ラジオで、英語とドイツ語の講座を聴くことを習慣にしている。また、近くの公園に行き散歩を毎日の習慣としている。
- ジムが3か月以上休みとなり、家でのトレーニングを習慣とした。周りで騒いでいるコロナ問題に煩わされずに、ごく自然な自分の生活習慣を守っている。
- コロナ問題で好きな海外旅行ができないのは残念だが、周りの自然の巡りを鑑賞しながら、普段通りの生活習慣を守っている。
- 季節ごとの祭りの習慣を大切にしている。新年やお盆といった祭りごとでは、親族一同が集まってその季節の祭りごとを行っている。
- 若いころフランス人青年と寄宿生活をしたとき、その生活習慣の違いに驚いたことがある。例えば、顔を洗う時、手は動かさないで顔を動かしたり、浴槽は使わずシャワーだけだったり。

## 第197回ドイツ語談話室

日時：2020年7月18日(土) 14-16時 場所：神戸日独協会会議室

テーマ：いま最も関心のある事

今回の司会は井川信子さんが担当し、今皆さんに最も関心があるコロナウイルスの対策として、自身の免疫力を高めておくことが重要であると話された。その為には免疫力を高める食材、例えば、発酵食品、オリゴ糖、食物繊維の多い食物、を取り入れること。また、ストレスをなくして、楽しく食事をする事が、免疫を高めるうえでとても大事なことであることも話された。

次に、参加者がそれぞれ関心のある事について話した。その一部を下記紹介する。

—森友学園の不正問題で自殺にまで追い詰められた赤木俊夫氏は嘗ての隣人であって、彼を良く知っているのので、進行中の裁判にとっても関心を持って見守っている。

—子供時代の写真を探し集めて、当時の多くの懐かしい事柄に関心をはせている。

—Go To トラベルのキャンペーンに関心を寄せている。旅行業界はコロナ問題で壊滅的打撃を受けており、日本の動きはドイツでも話題となっている。

—コロナウイルス感染に対する不安が必要以上に引き上げられて、人々の日常生活に影響を及ぼしているのが大変気掛かり。より正しい報道をして、人々の不安を煽り立てないことが大切。

—次期アメリカ大統領選に強い関心を持っている。今のトランプは、人種差別を煽り、国際協調を壊し、イスラエルに肩入れするといった愚挙だらけ。世界のために不幸ばかりもたらしている。

—現在のコロナに対する過剰な不安を和らげるため、早く有効なワクチンが開発されて、人々の不安が通常のインフルエンザ並みに落ち着くことを願っている。

### 今後のドイツ語談話室の予定

第198回 2020年8月15日(土) 14-16時 テーマ : コロナ後の経済危機

第199回 2020年9月19日(土) 14-16時 テーマ : 私の楽しみ

## Deutsche Gesprächstunde

### Protokoll der 196. Deutschen Gesprächstunde

Zeit: Samstag 20. Juni 2020, 14 bis 16 Uhr

Thema: Gewohnheiten

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erzählte, dass er sich nach drei Monate langer Unterbrechung sehr über die Wiedereröffnung dieser Gesprächsrunde freut. Er bat alle Teilnehmerinnen und Teilnehmer aber, als Vorsichtsmaßnahmen gegen das Virus, Masken bzw. Schutzschirme zu tragen, und die Hände zu desinfizieren. Die Tür wurde offengelassen, um Durchlüftung zu gewährleisten.

Der Gesprächsleiter erwähnte die unterschiedlichen Haltungen, die dem Tragen von Masken auf der Welt entgegengebracht werden. Für die Menschen in Japan ist das Tragen von Masken etwas Alltägliches. Man trägt sie gegen Erkältung, Influenza, Heuschnupfen etc.. In Deutschland und anderen europäischen Ländern gibt es derart Gewohnheiten nicht, Masken werden daher eher als störend empfunden.

Die Teilnehmerinnen und Teilnehmer sprachen über folgende Themen:

-Eine Teilnehmerin hat sich das frühe Zu-Bett-gehen und frühe Aufstehen zur Gewohnheit gemacht. Sie macht auch regelmäßig mit ihren Kollegen „Kiko“ unter freiem Himmel.

-Ein Teilnehmer spielt Tennis. Um in Form zu bleiben, geht er viel zu Fuß und benutzt die Treppen statt der Aufzüge und der Rolltreppen.

-Ein Teilnehmer hört jeden Tag die NHK Radiosprachkurse für Englisch und Deutsch. Außerdem macht er regelmäßig Spaziergänge in einem Park in der Nähe seiner Wohnung.

-Eine Teilnehmerin macht es sich zur Gewohnheit zu Hause zu trainieren, weil ihr Sportklub seit über 3 Monaten geschlossen ist. Sie möchte jenseits der Unannehmlichkeiten durch die Ausbreitung der Infektion ihre normalen Gewohnheiten beibehalten.

-Eine Teilnehmerin ist betrübt, weil sie auf ihre geliebten Auslandsreisen verzichten muss. Sie geht nun in die Natur und versucht so ihre normalen Lebensgewohnheiten zu erhalten.

Ein anderer Teilnehmer schätzt die großen Feste im Jahresablauf. Zum Neujahrsfest und zu „Obon“ im Sommer kommt die ganze Familie zusammen, um gemeinsam zu feiern.

-Ein Teilnehmer erzählte von einem französischen Jungen, mit dem er ein Zimmer im Internat teilte. Dieser hatte die Angewohnheit, beim Waschen des Gesichts, die Hände still zu halten und das Gesicht zu bewegen. Außerdem duschte er stets und setzte sich zum Baden nicht in die Wanne.

## **Protokoll der 197. Deutschen Gesprächstunde**

Zeit: Samstag 18.Juli 2020, 14 bis 16 Uhr

Thema: Was mich zurzeit interessiert

Dieses Mal hatte Frau Nobuko Ikawa die Gesprächsleitung und sprach zuerst von der Wichtigkeit, in Zeiten der Corona-Infektionen, sein eigenes Immunsystem gesund zu halten. Dafür muss man sich richtig ernähren. Fermentiertes Nahrungsmittel, Oligosaccharide und Ballaststoffe können das Immunsystem fördern. Ebenso sollte man Stress vermeiden, und versuchen bei Stimmung zu bleiben, denn auch diese beeinflusst das Immunsystem. Zuerst wurde in der Gesprächsrunde über dieses Thema gesprochen, in der Folge wurden auch andere Themen aufgegriffen. Hier einige Beispiele:

-Herr Toshio Takagi, der im Zusammenhang mit dem Moritomo-Skandal in den Selbstmord getrieben wurde, war einmal der Nachbar eines Teilnehmers. Darum verfolgt der sehr besorgt den Verlauf der Gerichtsverhandlung.

(Herr Takagi, musste als Beamter einen falschen Bericht über den Moritomo Skandal verfassen, womit er gegen sein Gewissen handelte. Es ging darum, strafbare Handlungen seines Vorgesetzten Direktor Sagawa, und des Ministerpräsidenten Abe zu verschleiern.)

-Ein anderer Teilnehmer sammelt Fotos aus seiner Jugendzeit und findet dort viele schöne alte Erinnerungen.



-Eine Teilnehmerin hat ein großes Interesse an der „Go To Travel“ Kampagne der Regierung. Wegen des Korona Virus Problems hat das Tourismusgeschäft starke Verluste erlitten. Über diese Kampagne wurde auch in Deutschland in den Medien berichtet.

-Eine Teilnehmerin findet es sehr schlecht, dass den Menschen große, vielleicht unnötige Angst vor dem Virus vermittelt wird und das das Schlimmste befürchten. Die Medien sollten korrekt sein, aber nicht erschrecken.

-Ein Teilnehmer verfolgt mit Interesse die Vorgänge um die kommenden Präsidentschaftswahlen in den USA. Er ist der Meinung, dass Präsident Trump mit seinen Handlungen Rassenvorurteile schürt, die internationale Zusammenarbeit in der Welt gefährdet und mit seiner Nahost-Politik Unglück auf der Welt stiftet.

-Ein Teilnehmer hofft, dass bald wirksame Impfstoffe gegen das Corona-Virus entwickelt werden, auch um weitere Ängste unter den Menschen zu verhindern, sodass zumindest diese Krankheit auch wie eine normale Influenza behandelt werden kann.

#### **Nächste Treffen:**

Samstag 15. Augst, 14 bis 16 Uhr: Thema: Die Wirtschaftskrise nach Corona

Samstag 19. September, 14 bis 16 Uhr: Thema: Meine Freuden

## **8月の実行委員会のお知らせ**

前号で8月の実行委員会は休会とお知らせしましたが、本年度後半の活動等について協議すべきことが多々ありますので、下記のとおり開催します。実行委員以外の方にも是非ともご参加の上ご意見をいただきたくお願いいたします。

日 時: 8月16日(日)15時～ 場 所: 神戸日独協会会議室

## **ウイルス感染関係のドイツ語彙**

今後しばらくウイルス感染との付き合いが続きそうです。そこで Deutsche Welle の諸記事からコロナウイルス感染に関する語彙を整理してみました。 (柘田義一)

《ウイルス関係》

ウイルス : Virus n.[Pl.は Viren] 新種のウイルス ein neuartiges Virus, コロナウイルス Coronavirus

*Ein neuartiges Virus grassiert in der Stadt Wuhan.* 新種のウイルスが武漢市で蔓延している

COVID-19 : WHO による新型コロナウイルス感染症の正式名称。コロナウイルス感染症と感染者が報告された 2019 年を組み合わせたもの。CO は corona、VI は virus、D は disease(病気、疾病)。

*Die durch Coronaviren ausgelösten Krankheiten sind COVID-19, SARS und MERS.* コロナウイルスによって引き起こされた病気が COVID-19, SARS, MERS である

Virus SARS-Cov-2 : 国際ウイルス分類委員会(ICTV)によるウイルス名。SARS(重症急性呼吸器症候群)

を引き起こすウイルス(SARS-CoV)の姉妹種であるとして名付けられた。

病原体 : Erreger m. *Chinesische Virologen haben die Erbinformation des Erregers entschlüsselt.* 中国のウイルス学者たちがこの病原体の遺伝情報を解明した

### 《感染関係》

(病気の)伝染、感染 : Infektion f., Übertragung f., Ansteckung f. *die steigenden Neuinfektionen mit dem Coronavirus in Tokio* 東京におけるコロナウイルスの新規感染の増加

～に感染する : sich mit et. infizieren [英語 infect からの外来語、独語は sich anstecken]

*Viele Menschen infizieren sich mit dem neuen Coronavirus.* 多くの人が新型コロナウイルスに感染している  
ウイルス流行病 : Virusepidemie f. [英語 epidemic (広い地域に流行する伝染病)からの外来語]

蔓延、伝播 : Ausbreitung f., Verbreitung f. [動詞「蔓延する」は sich ausbreiten (verbreiten)]

パンデミー、大流行病 : Pandemie f. コロナの大流行 : Corona-Pandemie f.

感染患者 : der Infizierte, Infektionsfall m. [Infizierte は過去分詞の名詞化。Fall は症例から患者の意]

感染数 : Infektionszahl f. *Die Infektionszahl von Tokio ist gestern explodiert.* 東京の感染者数は昨日爆発的に増えた

感染集団、クラスター : Cluster m. *Osaka weist einen Cluster mit 20 Infizierten auf.* 大阪では感染者20名のクラスターが見られた

感染経路 : Infektionsweg m. *einen Infektion verfolgen* 感染経路を追う

感染連鎖 : Infektionskette f. まき散らす人 : Spreader m. *Die größten Infektionsketten ließen sich auf sogenannte Superspreader zurückführen.* 感染の極めて大きな連鎖はいわゆるスプレダーに起因すると見なされる。

飛沫感染 : Tröpfcheninfektion f. 不潔な手指による感染 : Schmierinfektion f. *Die größte Infektionsgefahr besteht neben Schmierinfektion durch Aerosole.* 感染の最も大きな危険は不潔な手指によるものと並んでエアロゾルにある

(検査用の)粘膜炎組織採取 : Abstrich m. *Ein Abstrich mit dem Wattestäbchen kann durch einen Gen-Test Klarheit bringen, ob jemand akut erkrankt und ansteckend ist.* 綿棒による粘膜炎組織の採取は遺伝子テストによって、ウイルスに急性的にかかり伝染させるかどうかをはっきりできる

### 《症状関係》

症候、症状 : Symptom n. 無症状の : symptomfrei *Eine SARS-CoV-2 kann bei vielen Menschen symptomfrei verlaufen.* ウイルス SARS-CoV-2 は多くの人の場合無症状で進行する

基礎疾患、既往歴 : Vorerkrankung f. *die gefährlichsten Vorerkrankung* 極めて危険な既往歴 *Stärker gefährdet sind Menschen mit Vorerkrankungen, ältere Menschen, Personen mit Blutgruppe A und Männer.* より危険なのは、基礎疾患を持った人、高齢の人、血液型がAの人、そして男性である

病状経過 : Krankheitsverlauf m. *Typisch sind Rachenschmerzen, Atemprobleme und ein Verlust Geruchs- und Geschmackssinne.* 典型的なのは、咽頭痛、呼吸困難、臭覚と味覚の喪失である

関連語 : Grippe f. : 流感(流行性感冒)、インフルエンザ (*eine saisonale Grippe* 季節的なインフルエンザ *die Spanische Grippe* スペイン風邪) Erkältung f. : 風邪、感冒

### 《治療関係》

治療 : Behandlung f. 集中治療 Intensivbehandlung

人口呼吸 : künstliche Atmung 人工呼吸を施す beatmen 挿管治療をする intubieren

*Viele Patienten mit schweren Verläufen werden in der Intensivstation künstlich beatmet (intubiert).*

重い経過の多くの患者には ICU で人工呼吸が施される (挿管治療が施される)

呼吸装置、人工呼吸器 : Atemgerät s., Beatmungsgerät s. *an ein Atemgerät angeschlossen werden* : 人工呼吸器につながる

医薬品 : Medikament s. *ein überzeugendes Medikament* 確信できる医薬品

*ein auf dem Markt befindliches Medikament gegen das Coronavirus* 市場に出ている抗コロナウイルス薬  
特效薬、驚異的によく効く薬 : Wundermittel s.

テスト、検査 : Erprobung f. *Mittel an Patienten erproben* 薬の効き目を患者で試す

ワクチン : Impfstoff m. *Mediziner entwickeln weltweit neue Medikamente und Impfstoffe.* 医者たちが世界的に新薬とワクチンを開発している

予防接種、ワクチン投与 : Impfung f. *Wann kommt endlich die Impfung?* いったい何時になったらワクチン投与が現れるのか

免疫 : Immunität f. ~に対して免疫の : gegen et. immun

*Es ist unklar, ob genesene Patienten dauerhaft immun gegen das Virus bleiben.* 快復した患者がこのウイルスに対して免疫があり続けるかは不明確である

抗体、免液体 : Antikörper m. *Ob jemand Antikörper gegen das Virus in sich trägt, lässt sich mit einem serologischen Test aus dem Blut ermitteln.* ウイルスに対する抗体を持っているかどうかは、血液の血清学テストで突き止められる

### 《感染予防関係》

感染防止措置 : Infektionsschutzmaßnahme f. コロナ対策 : Corona-Maßnahme

封じ込め、食い止め : Eindämmung f. ウイルスを阻止する Viren bremsen

*Bei der Eindämmung der Seuche sind Lockdown-Maßnahmen sehr wirksam.* 伝染病を食い止める際にはロックダウン措置はとても有効的である

非常(緊急)事態 : Notstand m., Ausnahmezustand m.

非常事態宣言 die Erklärung des Notstands *den Notstand erklären (ausrufen)* 非常事態を宣言する

コロナ対策制限 : Corona-Beschränkung f.

*eine drastische Einschränkung des öffentlichen Lebens* 公共生活における徹底的な制限

(防疫のための)隔離、検疫(所) : Quarantäne [仏語からの外来語、昔の検疫期間の 40 日に由来]

*Wer ins Land darf, muss bei einer Ankunft aus Europa 14 Tage in Quarantäne bleiben.* 入国が許された者は、ヨーロッパから到着した際に 14 日間隔離されていなければならない

都市封鎖措置 : Lockdown-Maßnahme ステイホーム : Zuhausebleiben s 外出禁止 : Ausgangssperre f.

外出制限 : Ausgangsbeschränkung f. 商店閉鎖 : Ladenschließung f. 催しの中止 : Absage der Veranstaltungen 社会的接触 : Sozialkontakt m. *eine Sozialkontakt um 80 Prozent verringern* 社会的接触を 80%減らす

予防措置 : Schutzvorkehrung f.

マスク、防護マスク : Mundschutz m., Schutzmaske f., Maske f.

[独辞典によれば、われわれの日常使用しているマスク(Maske)はある姿形や顔の表情を表すために顔につ

ける厚紙や革や木で出来たもので、芝居やダンスなどで小道具として用いられるもの。仮面舞踏会やカーニバルでのそれである。Mundschutz は特に手術の際に医者と看護師によって付けられる滅菌された素材でできた保護のためのもので、患者からの感染から身を守るために口と鼻を覆うもの、或いは毒性の物質等を吸入することから身を守るものである。いわゆる日本のマスクである。Schutzmaske は特に毒性のあるガスや汚染・感染された大気の吸入を防ぐものとして顔につけるもの。ともあれこの三語は感染予防の「マスク」として等しく用いられている。「マスクをする」は「マスクを身に付ける」ので動詞は tragen であるが、Mundschutz の場合には einsetzen が多く用いられる。「防護マスクを装備する」という感覚か]

*Ein Mundschütz kann eine potenzielle Virenübertragung verhindern.* マスクは起こるかもしれないウイルス感染を防ぐことが出来る

*Die Masken gingen den Geschäften aus.* 商店からマスクが消えてなくなった

衛生上の規則 : Hygieneregeln

うがい : Gurgeln n. 手を洗うこと : Händewaschen n. アルコールで消毒する、殺菌する : mit (durch) Alkohol desinfizieren 脱感染薬剤、消毒液 : Desinfektionsmittel (für die Hände) 換気 : Lüften n.

隔たり、間隔、ディスタンス : Abstand m. *Abstand halten* : 間隔を保つ

*Der Mindestabstand von 1,5 Meter wird nicht eingehalten.* 1,5 m の最低間隔が守られていない

## 事務室からのお知らせ

### 協会事務室お盆休み閉室のお知らせ

神戸日独協会はお盆休みのため、8月11日(火)～8月14日(金)の間事務室を閉室いたします。なお、この間ドイツ語講座とドイツ文化教室もお休みになります。

Das Büro der JDG Kobe ist von 11. bis zum 14. August 2020 wegen der Sommerferien geschlossen.

### 第Ⅱ期ドイツ語講座・ドイツ文化教室について

7月後半より関西でもウイルス感染が拡大しています。拡大を受けて講座と教室は7月末より各クラスの事情に応じて、対面授業、オンライン併用対面授業、オンライン授業のいずれかの授業形式にて継続しています。クラスの授業形式については、協会事務室へお問い合わせください。

### 会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送は9月10日(木)を予定しています。お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

### これからの神戸日独協会の催し

行事及び催し物の開催については、ウイルス感染防止のため日時の確定及び実施が極めて流動的ですので「一覧表」は割愛させていただき、その都度別途「協会ホームページ」でお知らせいたします。「協会ホームページ」でご確認いただくか、あるいは協会事務室へお問い合わせください。

